

まつさか市議会だより

vol.94
2023.3.1

「みてんか」は電子ブックやPDFでもご覧いただけます。



みてんか

マジメで面白くない報告ですが…

特集 11月定例会

- 一般質問 P 6
- 市長に政策提言！ P17
- 行政視察 P18



令和4年度松阪市一般会計補正予算（第8号）など 40件を可決・同意

令和4年11月定例会は、11月21日から12月15日までの25日間の会期で開かれました。一般質問は11月30日、12月2日、6日の3日間、21人の議員により行われました。

また、12月6日に議案5件、最終日の12月15日に議案1件が追加上程され、合計40件が採決され、審議の結果、原案どおり可決・同意されました。

討論のあった議案

議案 第119号 一般会計補正予算（第8号）

中心市街地整備事業費 【事業費 18,406,000円⇒4,274,000円】

反対討論

松阪駅西地区複合施設の建設を進めようとしていること自体に反対。平成18年から20年にかけて進められた再開発事業においても破綻した先例のように、この場所における大規模開発の実施は無謀で、本計画を白紙に戻すべきと考え、反対討論とする。

賛成多数
可決



議案 第148号 一般会計補正予算（第9号）

公の施設の指定管理者による管理に係る協定
(徳和地区コミュニティセンター)

債務負担行為追加【期間:令和4年度～令和7年度 限度額 38,040,000円】

賛成討論

4月に指定管理が稼働する中で、スムーズに物事が運び、地域集落支援員が趣旨の通り役割を果たすための準備を入念にすることに期待して賛成討論とする。

全会一致
可決

議案 第152号 公の施設に係る指定管理者の指定 (徳和地区コミュニティセンター)

賛成討論

委員会で詳細な審査が行われ、附帯決議で行政は指導助言に当たり、情報の共有に努め、連携を強めること、モデル地区の実践では必要な支援に努め、十分な検証を行うことを求めている。これらを厳守することを強く求め、賛成討論とする。

全会一致
可決





11月定例会の議決結果

○は全会一致、●は賛成多数、✕は賛成少数

check!! →

塗りつぶしの●は、賛否が分かれた議案等です。議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。
過去の賛否内訳も議会ホームページから見るができます。

審議番号	件名	審議結果	審議番号	件名	審議結果
令和4年度補正予算	119 一般会計補正予算（第8号）	●	人事	154 教育委員会委員の任命	○
	120 競輪事業特別会計補正予算（第2号）	○		155 固定資産評価審査委員会委員の選任	○
	121 国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○		156 固定資産評価審査委員会委員の選任	○
	122 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○		157 固定資産評価審査委員会委員の選任	○
	123 農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○		158 公平委員会委員の選任	○
	124 水道事業会計補正予算（第1号）	○	その他	136 財産の取得	○
	125 公共下水道事業会計補正予算（第1号）	○		137 財産の無償譲渡	○
	126 松阪市民病院事業会計補正予算（第2号）	○		138 財産の無償譲渡	○
	148 一般会計補正予算（第9号）	○		139 財産の無償譲渡	○
	153 一般会計補正予算（第10号）	○		140 公の施設に係る指定管理者の指定（松阪市健診センター）	○
条例	127 住居等における不良な生活環境の解消に関する条例の制定	○		141 公の施設に係る指定管理者の指定（ワークセンター松阪）	○
	128 飯南総合交流ターミナル施設「茶倉駅」条例の制定	○		142 公の施設に係る指定管理者の指定（松阪市中心市街地活性化複合施設及び松阪市市民活動センター）	○
	129 地域集会所条例の一部改正	○		143 公の施設に係る指定管理者の指定（松阪市飯高グリーンライフ山林舎）	○
	130 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	○		144 公の施設に係る指定管理者の指定（松阪市飯南総合交流ターミナル施設「茶倉駅」）	○
	131 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○		145 公の施設に係る指定管理者の指定（松阪市飯高森林とのふれあい環境整備施設）	○
	132 職員の給与に関する条例の一部改正	○		146 公の施設に係る指定管理者の指定（松阪農業公園ベルファーム）	○
	133 手数料条例の一部改正	○		147 公の施設に係る指定管理者の指定（松阪市飯高地域資源活用交流施設及び松阪市飯高総合案内施設）	○
	134 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	152 公の施設に係る指定管理者の指定（徳和地区コミュニティセンター）	○	
	135 防災センター及びコミュニティ消防センター条例の一部改正	○			
	149 市立保育所及び小規模保育事業所条例の一部改正	○			
150 市立認定こども園条例の一部改正	○				
151 市立幼稚園条例の一部改正	○				

表決がわかれた案件に対する各議員の賛否

議案番号	政友会								蒼水会					市民クラブ				公明党				会派に所属しない議員							
	中村誠	松本一孝	市野幸男	田中正浩	米倉芳周	坂口秀夫	堀端脩	野呂一男	山本芳敬	森遥香	野呂一平	赤塚かおり	深田龍	沖和哉	濱口高志	東村佳子	吉川篤博	橘大介	楠谷さゆり	中島清晴	小野建二	奥出かよ子	松岡恒雄	小川朋子	殿村峰代	西口真理	海住恒幸	久松倫生	
119	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 山本芳敬は採決に加わりません。

○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員、欠は欠席した議員。



総務企画委員会

徳和コミュニティセンターの 指定管理契約を審査



- 問** 指定管理になって災害時対応は。
- 答** 交代要員含め、市職員を派遣していく。
- 問** 指定管理後、センター長は引き上げるのか。
- 答** 引き上げて検証を行っていく。地域担当職員を中心に連携して支援していく。
- 問** 人件費の積算に集落支援員制度がある。
- 答** この制度に地方交付税措置がある。徳和地区は適用外だが、同様の業務をしていただくため集落支援員相当分として積算した。
- 問** 集落支援員制度を検討した経緯と運営は。
- 答** 2年前から国の制度である集落支援員制度の検討を始めている。選定については地域で選任いただき市が委嘱する。

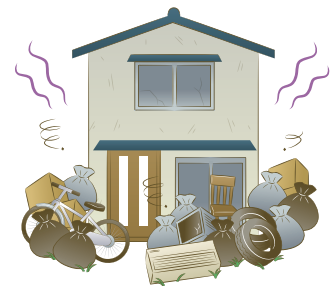


環境福祉委員会

三重県初！ごみ屋敷条例制定



- 問** 当事者(所有者)への支援について、どのように地域への周知、理解をいただくのか。
- 答** 本人に寄り添う福祉的な支援にて解決を図る。地域住民の負担軽減のための条例でもあり、地域とのバランスを考え進めていく。



大石幼稚園を廃止し、みなみ保育園 が保育所型認定こども園に移行！



- 問** 大江中学校もしくは、南小学校の一部に新たに設置する計画は、いつ頃になるのか。
- 答** 学校運営協議会での協議後、教育委員会での協議結果となる。今後の予定が難しい。
- 意見** どちらかの学校としても地域への説明、学校側との協議を率先して願う。



文教経済委員会

施設管理者の指定（松阪農業公園ベルファーム）



問 募集要項にある、利益が年100万円増となり、超えた金額の半額を市に還元する条件の理由は。

答 市として、当施設は収益性が高いことを踏まえ、今後の経済情勢によっては想定以上の利益を得ることが考えられる。指定管理料を下げる提案がなくても、経済が急激に回復した場合、市に還元していただく仕組みを募集に盛り込んだ。

放課後児童健全育成事業の運営に関する基準条例の一部改正



問 支援員不足の根本的な解決となるような行動は起こしているのか。

答 クラブ職員の報酬を上げるため、キャリアアップ処遇改善補助金を拡充、松阪市ホームページへクラブ職員の募集を掲載、年1回県が実施する認定資格研修について、三重県への要望が実り年2回実施されるようになった。

意見 解決には待遇面の改善が必要。対策を十分考えていただきたい。

建設水道委員会

総合運動公園施設受付管理業務に係る債務負担行為補正



補正予算額
1,224万円

問 総合運動公園施設受付管理業務契約について、増額理由は。

答 昨今の物価高や燃料費の高騰などに加え、見積りを依頼する業者も変わり、人件費の考え方、経費の捉え方に違いが生じた。

中心市街地活性化推進費の見直し理由は？



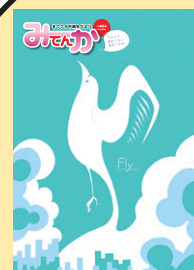
補正予算額
△1,413万円

問 松阪駅西地区複合施設事業者募集の時期を見直すため減額されている。見直し理由は。

答 長期化するコロナ禍と国際情勢の変化に伴う建設資材の高騰が起こり、現時点では有益な事業が見込めないと判断した。



▲「豪商のまち松阪」
中心市街地土地利用計画



問 & 答 一般質問

11月30日、12月2日、6日に21人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分（答弁時間含む）の時間制限の中で質問しました。



橘 大介
濱口 高志
松本 一孝
深田 龍
久松 倫生
西口 真理
小野 建二
吉川 篤博



東村 佳子
松岡 恒雄
市野 幸男
小川 朋子
海住 恒幸
楠谷さゆり
殿村 峰代



野呂 一平
中村 誠
坂口 秀夫
奥出かよ子
田中 正浩
森 遥香

※ 一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。

※ QRコードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。（別途通信料が発生します）



市民クラブ



たちばな だいすけ
橘 大介 議員



弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合の行動

問 10月14日の三重県議会の知事の答弁で、爆風などから身を守る避難施設を指定する作業を急ぐ考えを答弁された。市町が所有する地下施設は年度内をめどに指定したいという考えにどう市は応えるのか。

答 既に文書にて、三重県より松阪市へ市所有施設の調査依頼が届き、主に候補施設となる市道の地下通路などの抽出を行っている。

問 知事は避難訓練についてなるべく早い時期に市町と調整していくとの答弁。それを受けて市の考えは。

答 現在、三重県において、各武力攻撃事態を想定した県内市町との訓練は調整中と伺っている。武力攻撃事態を想定した避難訓練は必要であると考えていて、県などと連携しながら、今後研究していきたい。

どうなる？松阪公民館と 新型コロナワクチン集団接種会場

意見 マーム 跡地の集団接種会場の契約期間が3月31日まで。その後の会場の準備はしておくべき。

答 集団接種会場は、来年（令和4年）の年度末をもって終了と国からの通達が来ている。大規模会場をあらかじめ空けておくということは、非効率と考えている。



蒼水会

はまぐち たかし
濱口 高志 議員

来客の少ない施設を 毎日開館する必要があるのか

問 一般的に地方の小さな博物館や美術館は利用者数が少なく、人件費、光熱費が入館料では全く足りない。松阪市の状況はどうか。

答 文化施設は、効果が数字では把握しづらい。見ていただける環境を整えることが大切と考えている。

意見 社会見学等が多いと思うので、曜日指定し、毎日開館しなくてもいいのではないかと。コストダウンになる。

ホームページを見られない人への コロナ感染時の情報提供は？

問 コロナに感染した場合や濃厚接触者になった場合に、どうしたらいいのか広報を見ても分からない。広報はワクチン接種専用になっている。

答 広報12月号に発熱した場合等の窓口を掲載する。また、第8波に備え、自宅療養者ガイドを作成した。ホームページに掲載するとともに、市役所、各地域振興局等に設置している。

意見 ホームページの「新型コロナウイルス感染症特設サイト」の「発生状況」が一番上にあるが、9月の感染状況が出ている。一番下の「Q&A」の中に「自宅療養者ガイド」がある。レイアウトを見直した方がよい。



—/ その他の質問 /— ・ 投票しない権利とは

政友会

まつもと かづたか
松本 一孝 議員

観光に関すること

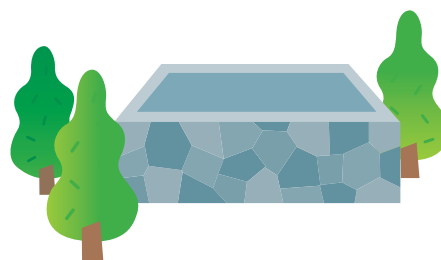
問 以前にも話が出ていたが、松坂城跡の天守閣再建を望む声が聞こえる。文化庁の基準では忠実に基づかず、根拠のないものは立てられないとのことで、議会の中では共通の認識ではあるが、観光客からも石垣しかないとの感想も聞かれる。以前も古写真にある門など、スマートフォンやタブレットでQRコードなどを読み取るとCG画像が見えるようにしてはと質問したがその後、何か検討はあるか。

答 整備基本計画の中にサインや説明看板についてデザイン的に統一の取れたもので遺構の表示等を適宜配置することとなっている。説明看板の整備が具体的には進んでおらず、その中で議論、整備がなされていくものだと考える。

意見 古写真を基にCG化した映像などが見られるよう勧めていただきたい。

問 コロナ禍の前に松阪市民全員が広報となり、松阪市の観光発信をしてもらえれば強い力になることから、学校で発信する教育を考えてもらえればとの質問をしたがその後どのようなになっているか。

答 本市の良さや魅力を自信をもって発信するよう郷土教育を実施している。



—/ その他の質問 /— ・ 危機管理に関すること
・ 橋梁に関すること

蒼水会

ふかた りゅう
深田 龍 議員

人口減少対策としての企業誘致は進んでいるのか？

- 問** 人口減少対策はできているのか。
- 答** 合計特殊出生率は非常に落ち込んできている。また転出超過も進んでいる現状。
- 問** 松阪市から他市町へ出ていくことを決定された経営者もいれば、近隣市町へ出ていくことを選択肢に考えている経営者もいる。何十年と松阪市に貢献いただいている企業が松阪市を出ようとしている動きを今、止めないといけないと考えるが、このまま工業用地を確保できないまま、市は放っておくのか。
- 答** 課題は産業用地。これはもう早くから取組んでいるが、洋々と光が見えてきたところで、それなりに時間がかかる。この地域の現役世代、いわゆる就労世代にきちんと職がある、生活ができる、そんな基盤をつくっていく必要があると考えている。

障がい者スポーツ大会には、同行者の支援も

- 問** 大きな大会等で、移動が増えれば増えるほど、一人での移動が困難なケースが増える。同行者に対する補助という視点が必要になると考えるがいかがか。
- 答** 障がい者の競技スポーツへの志向意欲を高め、積極的な社会参加を促進する観点からも、研究課題としていきたい。



— その他の質問 — ・ 一次救急のあり方

会派に所属しない議員

ひさまつ みちお
久松 倫生 議員

地域と学校の新しい政策展開 移住促進と香肌小学校の実践

- 問** 香肌小学校の転入児童がここ2年間で大きく増え、子育て世代の流入促進による地域活性化という新しい動きが展開されている。どのような経過で実現してきたのか。これからも継続していくのか、そのためにどんなことが必要か。
- 答** 2019年から保護者や地域の話し合いが始まり、親子山村留学実行委員会が組織された。「自然豊かな飯高上流地域に学校を残す」「都会の親子の受け皿になり将来的な交流につなげる」「子育て世代を増やし地域を活性化する」の3つの目的。熱心な取組みの成果である。松阪市総合計画に中山間地へ子育て世代の新規転入50世帯を目標に掲げている。しっかり話し合い支援に努めていきたい。
- 問** 山村留学のオープンスクールを見学して新たな視野が開けた。都市部の大規模校から移ってみえた方の「学校って何だろう」という声もあり、移住の中で新たな学校づくりというこれからの松阪の教育を考える課題があるのではないか。
- 答** 香肌小の教育活動、探究的な活動はモデルになるし、国の注目を集めている。さまざまな課題について学校と地域と一緒に考えていきたい。
- 意見** 新たな政策課題への提起ができた。



— その他の質問 —

- ・ コロナ禍と物価高のもとでの市民生活の支援
- ・ 会計年度任用職員制度の改善

会派に所属
しない議員



にしぐち まり
西口 真理 議員



市の福祉行政を問う 障がい者自立支援と相談支援の充実を

問 障害者総合支援法に基づいて設置されている「松阪市障害者地域自立支援協議会」。令和元年9月以降令和4年8月まで3年近く開かれず、委員もいなかった。これはどういうことか。

答 新型コロナウイルスの流行により、開催に至らなかった。

問 コロナ禍によって、障がいを持つ方にとってはより厳しい状況であった中、対面が難しいならリモート等方法はあった。協議会の重要性に対する認識が足りない。今年8月の協議会も明らかに準備不足。3年前から前に進んでいない。市の役割として再度立て直し、リードしていただきたい。

答 障がい福祉推進の中核となる協議会であるので、関係団体と協力して取組みを進めていける組織づくりを目指していく。

問 重層的支援体制の整備には、最終的に大事なのは実際に窓口で相談対応する「人」ではないか。福祉専門職の採用や職員の定期異動の見直し、福祉に特化した人材育成も必要かと思うが。

答 この4月から社会福祉士を採用し、来年も採用していく。職員の人事異動は必要だと考える。その中で福祉分野を希望するという人事をしていくべきかはこれから検討していかなければならない。

意見 今、絶対的に相談対応できる専門職員が足りていない。職員のスキルアップと人材確保を検討していただきたい。

公明党



おの けんじ
小野 建二 議員



認知症対策

問 2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるとのこと。65歳以上の方と認知症と確認される人数は何人か。

答 65歳以上は4万8,402人。約9,600人の高齢者が認知症になる可能性がある。

問 認知症の徘徊者の早期発見保護につなげるため、衣服や持ち物に貼る認知症見守りQRコードシールの導入を提案するが、いかがか。

答 認知症高齢者の施策は重要課題であり、認知症の人や家族への支援に今後とも取り組んでまいりたい。

問 認知症が疑われるような心配な時の判断ツールとして、市と包括センターが活用しているタッチパネル式のタブレットを、認知症の早期発見につなげるために、本庁舎に1カ所でも場所を作る体制を提案するが、いかがか。

答 引き続き高齢者の集まる場所等で活用



公共施設に冷水機の設置を

問 市民が集まり利用する場所、幼稚園、保育園、小中学校にも熱中症対策にもなるコロナ感染症対策対応の冷水機の設置を提案するが、いかがか。

答 本市の水道水は飲料水としても安全性を認識している。設置にあたって総合的に判断していく必要があると考える。

市民クラブ

よしかわ あつひろ
吉川 篤博 議員

学校教育の充実

問 小中学校の「適正規模・適正配置」の基本方針に書かれる内容は。

答 検討委員会からの答申内容を尊重し、適正規模の基本的な考え方、最低限確保したい学校規模、学校規模適正化の対象校、方策・通学距離の基準・検討時期を基本方針に示したい。

問 学校規模適正化のタイムテーブルは。

答 1月中に基本方針の中間案を作成し、今年度末までに、基本方針を策定する。

問 外国人児童・生徒の教育や、「いっほ教室」の現在の状況は。

答 日本語指導が必要な児童生徒数は、小学校 195 人、中学校 71 人、計 266 人。関係各校では、国際教室を設置し学習を進めている。「いっほ教室」では、現在 14 人の児童生徒に支援を行っている。

意見 子どもたちのため
母語スタッフやいっほ教室のスタッフが安心して働ける環境づくり・待遇改善をお願いしたい。



スポーツと連動した

まちづくりの推進

問 テニスコート集約の現在の進捗状況は。

答 集約時の費用対効果も踏まえ慎重に今後検討していく必要があると考える。

意見 テニスコートなどさまざまなスポーツ施設を一つずつ実施していただきたい。

その他の質問

・スポーツ施設の改修の進捗状況

市民クラブ

ひがしむら よしこ
東村 佳子 議員手と手でハートをつなぐ手話条例
施行10周年に向けて

問 松阪市手話基本条例の特筆すべき点は。

答 平成 25 年 11 月議会において条例制定を求める請願採択。ろうあ団体等、意思疎通支援者、行政、学識経験者等によるワーキングチームにおいて、当事者や支援者の意見をできる限り反映する協議が重ねられ、平成 26 年 4 月に施行。手話は言語であり、ろう者が大切に育んできたこと等、現状を踏まえ条例を制定する旨を前文に記述。本則には基本理念、市の責務、市民の役割を明らかにし、すべての人が安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指すとして記述。手話施策、推進方針の策定のために聴覚障がい者、意思疎通支援者等が参画する松阪市手話施策推進会議を設置するとしている。

問 施行 10 周年に向けてその先の方向性は。

答 子ども達が学校で手話を学ぶ機会を今以上に増やす。ろうあ福祉協会に講師と手話通訳を依頼。年間 6 校ずつ 6 年かけて市内全 36 校の小学校の 5 年生を対象に手話学習を行う授業の実施に向け協議。

意見 今日のこの機会が条例制定 10 周年に向けて「手話は言語である」を市民と共有し、手話の普及啓発がより広がるよう、よいきっかけとなるように。



その他の質問

・文化施設と新しい表現の在り方
・街なかのフリー Wi-Fi って使いやすい？

公明党

まつおか つねお
松岡 恒雄 議員

発達性読み書き障害 (ディスレクシア) へのサポート体制

問 小中学校でディスレクシアと思われる児童生徒をどの程度把握され、学校現場ではどのような調査が行われているか。

答 ディスレクシアに限らず発達の障がいは、日々の教育活動を通し、早期に気づき、支援をしていくことが重要であり、子どもの困り感や障がいにいち早く気づき、適切な支援につなげられるようさまざまな機会を通して、一人ひとりの子どもに寄り添った実態把握を行ってまいりたい。

問 発達性読み書き障害の困難さを軽くするため、学校現場でどのような取組みをされているか。

答 物を読む課題はタブレットを活用して拡大したり、デジタル教科書で文字の色や大きさ、行間を調整したり、自分に合ったようにカスタマイズでき、個性を持った子どもたちに効果的な授業づくりに努めている。

問 リーフレットを作成し、発達性ディスレクシアへの理解を促す必要があると考える。教育委員会の見解は。

答 国や先進的な地域の取組みやリーフレットを参考に、保護者等の理解や周知を図る取組みの研究を進め、そだちの丘や関係機関と連携し、ディスレクシアを含む発達障害のある子どもに対して、個々のニーズに合った合理的配慮や支援方法等、切れ目のない教育支援の充実を進めていこうと考えている。

用語解説

発達性読み書き障害（＝ディスレクシア）とは…全体的な発達には遅れはないのに、文字の読み書きに限定した困難があって、そのことによって学業不振が現れたり、二次的な学校不適應などが生じる疾患のこと。

政友会

いちの ゆきお
市野 幸男 議員

第一次産業従事者への補助・支援

問 担い手確保、経営強化支援事業等の農機具施設導入に対する補助金など国、県から助成を受けようとしたとき高いハードルをクリアするため市はどんな丁寧な説明、手助けを行なっているか。

答 農業者の意見を聞き取った上で説明や助言をしている。

意見 窓口で待っている事業ではなく、表へ発信していかなければ、肝心のところへ肝心のものがいかない。ぜひ願います。

問 漁業も船外機や漁船の買い替え、毎年の船底塗装等が必要。現状漁業従事者へ直接渡る補助金等はあるのか。

答 漁船やエンジンの新規購入と更新は、国の支援でリース料の半額補助がある。

問 志摩市では漁業者緊急支援としてコロナ禍における燃料費、光熱水費、物価高騰に伴う負担軽減および、事業継続支援のため支援金を交付する施策があるが、本市の今後の考え方や対応は。

答 漁船のほとんどが小型船舶で燃料使用量に大きな影響がないとの回答で市として支援は実施しなかった。

意見 もっと踏み込んだ調査をして、是非、今後の支援につなげてほしい。一次産業は生きるための大切な糧。就労人口が減らないよう、できることなら増となるよう大きな支援をよろしく願いたい。



その他の質問

・鎌中地域交流センターの活用と位置づけ

会派に所属
しない議員



おがわ ともこ
小川 朋子 議員



安心安全な生活のために 空き家対策は重要！

問 空き家対策はいろいろな部署にさまざまな制度がある。今後の周知方法は。

答 無料相談会、ホームページに利活用の情報をまとめるなどの改善と、空き家化の予防も連携して取組んでいく。

意見 早い段階での周知と予備軍の把握が必要である。引き続き連携をお願いする。

正しい情報の共有で マスク問題に取り組もう

問 マスク着脱について国は屋外では原則不要としているが、学校現場がそのとおりに対応していないのではないかと。

答 校長会において適切に指導するように求めた。一人ひとりに寄り添ったケアに取り組むよう各学校に働きかけていく。

問 外せない子に強要をしていないなら、外したい子にも強要はできない。実際に教員が着用指導をしている、という声が聞こえてくる。どう捉えているか。

答 いろいろな相談が寄せられる。偏見、差別につながる行為や人権侵害、誹謗中傷等が行われないよう徹底していく。

意見 頑張っている先生、悩んでいる先生もいるなかで教育委員会がもっと後押しをしてほしい。大人が変わらなければ子どもが変わることはできない。マスク着脱の問題は、国の情報が共有されていないのが一番の問題。情報共有と正しい情報発信が市の役割であると思っている。



会派に所属
しない議員



かいじゅう つねゆき
海住 恒幸 議員



医師の学会用スーツ、 公費の支出としてふさわしい？

問 治験費とは何か。

答 治験のため製薬会社から病院に支払われる研究費など。用途は内規を定め、書籍や備品、学会、出張、研修費ほか業務上必要な経費に使っている。

問 呼吸器内科ではどうか。

答 先ほど申した以外に学会で着用する呼吸器センターのネーム入りスーツ、FM 番組の電波料、カレンダー、冊子の印刷など。

問 スーツはいくらか。

答 オーダーなので少し高め。

問 初め、ご答弁いただいた趣旨と実態が違う。公のお金としてあり得ることか。なぜ呼吸器内科では認められるのか。

答 ちゃんと内規を定め、ルールを決めているので問題なく支出している。しっかり目立って注目されることが非常に重要。PR が患者確保につながる。

問 内規にそんなことは書いていない。市民病院ではそういう解釈が行われているのか。津競艇の協賛金として30万円の品物を出している。治験費の趣旨に合うか、はなはだ疑問。

答 病院のPR であれば問題なく支出できる。その診療科が稼ぎ出した治験費の収入を使うのは病院内部で了解が得られる。

意見 学会に出るのに高額なオーダースーツが必要か。市民病院は、そんなこと言っていて、いい病院か。



市民クラブ



くすたに
楠谷さゆり 議員



みえ松阪マラソンの成功を祈って

問 松阪駅からは何台のシャトルバスが使われるのか。また終了後、JR側にも来てもらえるような仕掛けは。

答 65台のバスを運行し、クラギ行きは29台で94回の運行を予定。仕掛けとしては、徒歩ルートマップの作成と、観光情報センターでランナーの手荷物預かりをすること。また駅周辺の500店舗がサービスの提供を企画中。

問 参加者に郵送した荷物入れ袋が小さすぎる。観光センターで預かるのはありがたい。スタート会場のトイレはいくつか。

答 常設トイレが71基、仮設を110基。

問 コース上でトップ約500人は食べないと思うが、松阪のものを食べるのも楽しみたい人も多い。どのくらい提供予定か。

答 各給食ポイントでは合計で1万食用意する予定。

問 招待選手は。

答 有名な元公務員ランナーの川内優輝選手、兼重志帆選手、床呂沙紀選手。

意見 裏方の人たちを大切にしない大会は長続きしない。ペースメーカー、救護サポートランナーの名前がプログラムに載っていないが、こういう方たちにもスポットライトを当ててあげて欲しい。今回はせめてホームページで感謝を書いて欲しい。



その他の質問

・今ある資源で飯高飯南地域にもっと活力を

会派に所属しない議員



どのむら みねよ
殿村 峰代 議員



コロナ禍の成人期以降の健康づくりをどう考える？

問 来年健康づくり計画が策定される。アンケートを取って、傾向と対策は。

答 1,390人からの回答があった。健康づくりマイナス回答に憂鬱な日の増加、運動量減少、睡眠の質の悪化があり、プラス回答に自身の身体への関心を持つなどがあった。今後分析し、感染リスクを上昇させないインターネットを介した健康教育なども第3次の計画に反映する。

問 動機づけとして連携は考えていないか。

答 「未来の教室」という授業がある。子どもや地域と連携する可能性など具体的に研究し、いいものを作っていくたい。

松阪市職員のハラスメントと労働者の人権をどう考える？

問 松阪市職員の新聞紙上に出るような問題がある。ハラスメントや労働者人権の研修後の具体的な成果は。

答 具体的に把握していないが、アンケートで意識は高まっていると考える。

問 市職員2,000人の休職中の状況は。

答 令和3年で37人。内メンタル疾患は男性10人女性14人。令和4年も引き続き休職11人。退職が4人。

問 相談窓口など具体策は。

答 職員課、専門医、共済組合健康相談室への相談窓口があり、ハラスメントが職場の大きなリスクであることを理解するような人材育成を行っている。



蒼水会

のろ かずひら
野呂 一平 議員

需要と供給のマッチング

問 市長が考える本市のこれからの需要と供給、また、施策について、市民の皆さんへ向けてのメッセージを伺いたい。

答 行政は総合サービス業である。道路や橋の建設から、セーフティネットと言われる、本当に皆さんの生活を支える部分、本当に幅広い、さまざまなサービスを行っているのが行政。誰のためなのか、何のためなのか、ということ念頭に置いて、スピード感のある決定と供給を行っていくことが基本である。市民生活をきちんと支えていくのが、私たちの仕事。そのために、需要と供給のバランスをいち早く的確に、皆さんのニーズを把握して、政策に反映していきたいと考えている。

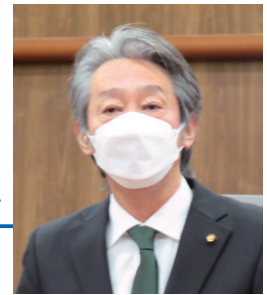
松阪市の区割りについて考える

問 民生委員の負担軽減につながるような施策は検討されているのか。

答 福祉まるごと相談室を身近な地域に設置し、民生委員と密に連携することで、負担軽減につながっていくと考えている。民生委員の負担軽減については、市としても大きな課題であると認識しており、さまざまな方法で負担軽減に努めてまいりたい。



政友会

なかむら まこと
中村 誠 議員

県立大学誘致への現状を問う

問 県立大学を誘致する上で明確な役割、機能を果たす必要があるが、誘致した場合の効果は。

答 三重県の大学進学者収容力は、進学希望者の約4割の収容力しかなく、約8割が県外に進学している。南三重地域は、通学できる大学も少なく、進学時に転出し、そのまま県外で就職し、帰らない学生も多い。人口減少対策や若者定住などの視点から大変重要で効果的である。

問 財政面について、三重県、そして松阪市の考えは。

答 設置に係るイニシャルコストは大学の規模や学部、設置場所等により違う。長野県立大学の例では、設置場所の長野市が敷地の無償貸与や開学後の建物の改修や設備の充実、学生支援のみに充てるものとし趣意書を交わし、出資金として拠出。県の意向やイニシャルコストについての負担要請はないが、可能性を否定するものではない。

問 市として今後、南三重全体で考えたときの県への働きかけをどのように行っていくのか。

答 若者定住という観点から大学設置というのは県内全体の想いだとは思っており、特に人口流出が激しい、人口減少が激しい、我々含む南三重地域は大きな危機感を持っているということで、今後も活動を積極的に進めていきたい。



政友会

さかぐち ひてお
坂口 秀夫 議員

市独自の貸与型奨学金制度の創設を

問 新型コロナの影響で収入が減少し、影響が生じている家庭も多い。給付型でなく貸与型にすれば採用者数も増やすことができ、将来を担っていく大学などに進学した人を対象とした独自の貸与型奨学金制度を創設できないか。

答 現在の給付型に加え貸与型を併設することにより、対象者の間口を広げ、多くの人の支援ができるのではないかと認識している。貸与型であれば、給付者数を拡大することも可能であるが、将来に負担となる可能性も懸念されるところ。現在のところは給付型奨学金として制度設計をし、奨学金事業を推進していきたい。

問 卒業後は一定期間松阪市に居住することや、市内事業所へ就職することを条件に、返済の一部を免除や全額免除をするなど制度の創設への努力はできないか。

答 国においては、奨学金返済支援の取り組みを実施、三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業もあり、若者の地方定着に寄与する有効な施策と位置づけて事業推進を図っている自治体もあることから、まずは情報収集と事業詳細の調査研究を進めていく。



その他の質問

- ・松阪市みんなでまちをきれいにする条例はどのように生かされているのか
- ・市民の資格試験への助成制度の創設を

公明党

おくて こ
奥出 かよ子 議員

マイナンバーカードの安全性とさらなる可能性

問 マイナンバーカードが心配であると多くの方からお声がある。安全性はどうか。

答 不正に情報を読み出せばICチップが自動で壊れ、安全性は保たれるものである。

問 今どのようなサービスを受けられるか。

答 コンビニの各種証明発行、マイナポータルの利用手続き、総合窓口ちゃちゃっと手続き等、60の行政手続きが利用可能。健康保険証が令和3年10月から運用開始。運転免許証は令和6年度末運用を目指し、整備が加速されている。

問 来年3月までに子育て、介護、災害分野のオンライン申請を可能とするとしている。松阪市の現状はどうか。

答 既に子育て9手続きが申請でき、介護17手続きは令和5年3月末までに順次稼働できるよう作業を進めていきたい。

意見 変化への丁寧な周知と現場のお声に向き合い、利便性の向上を強く要望する。

子宮頸がん発症予防を目的としたHPVワクチンの対応

問 本市の9価HPVワクチンの定期接種化対応はどうか。

答 中学1年生以上の方に個別勧奨通知を検討してまいりたい。

意見 定期接種が受けられるようになれば速やかな案内実施を要望する。

その他の質問

- ・学校等のてんかん発作時のブロラム投与

用語解説

ブロラム…てんかん重積状態を発症した患者さんに対する類粘膜投与用プレフィルドシリンジ製剤。9価HPVワクチン…〇価というのは「〇種類の」という意味。9価は9種類のHPV（ヒトパピローマウイルス）をカバーする。

政友会

たなか まさひろ
田中 正浩 議員

宿泊施設に泊まればもらえる 松阪逸品クーポンをなぜ販売

問 「松阪逸品クーポン」の概要の配布方法に宿泊施設を運営するものがチェックイン時に客に直接配布してくださいとある。1泊2日6,000円で泊まれるホテルで7,000円にすれば3,000円のクーポン券がもらえる。ホテルがこのクーポンを買っているわけではない。ただでもらっている。結局ホテルの利益のために売っているのでは。

答 3,000円のクーポンをお配りさせていただき、宿泊施設がそれをいくらで見ているかは宿泊施設の考え方である。

意見 クーポン発行予算は3,000万円。松阪のホテルに泊まって、飲食店の3,000円のクーポンがもらえれば来る人もいる。それをお金を出して買うようなプランに設定する。宿泊客が来た時に渡している宿泊施設もある。ホテルによって差がある。税金の使い方が違うと思うが。



▲本当に飲食店応援券？



その他の質問

- ・ 必ず限界が来る自治会の防犯灯管理
- ・ 市内4カ所、3億7千万円の太陽光発電設備設置の入札中止

蒼水会

もり はるか
森 遥香 議員

子育て経験有無に限らず、 まちぐるみで子育てを！

問 若年層のキャリア形成や少子化対策につながる点も含め、全市民が子どもや子育てに関われる取組みはあるか。

答 子育て世帯支援は充実を図ってきたが、未婚者が子育てを知る取組みはあまりない。

問 子育ては十人十色。選択肢の多い松阪ならではの子育て支援講座開催に向け、さまざまなタイプの講師を公募してみたい。

答 子育て支援で活動をする個人や団体との関わりの中で、見極めていきたい。

意見 美容院や子育て世帯がよく利用する飲食店に情報発信の協力要請をしては。県内市町で初めてイクボス宣言をした竹上市長のリーダーシップに期待！

誰もが平等に

まちづくりの主人公であるために

問 市民意識調査結果、市政反映事例は。

答 幼、小中学校エアコン設置、津波避難タワー建設、道路白線引き直し等実施。

意見 調査は市の今後を決める重要な判断材料。現調査と別に、市政参画増を狙いプレゼントがある調査もやってみては。

問 デジタル苦手層へ勉強会（ライン、ズーム、松阪ナビの使い方）を行っては。

答 整備済の公民館 Wi-Fi とオンライン会議用端末を地域で活用してほしい。

意見 「市長と語る会オンライン版」「インスタライブで市長と語ろう」等、新たな形での双方向の交流の実現を望む！

政策討論会分科会（環境福祉委員会）が市長に政策提言！

みてんかvol.91(2022.9.1)で掲載いたしました「政策討論会分科会（環境福祉委員会）を開催しました!」のその後の報告をいたします。

「子ども医療費助成事業」をテーマに、令和4年4月28日から8月8日まで計7回の議論を重ね、8月10日に市長に提言書を提出しました。

〔提言〕

①

助成対象の未就学児に対して児童扶養手当の所得制限を超える場合の窓口自己負担分最大1,000円までをなくし、現物給付とすること。

②

保護者の所得制限をなくし、すべての未就学児に対して現物給付を導入すること。

以上を早期に事業化するように求めました。

（提言書の詳細は右のQRコードをご参照ください。）

この中で、アンケートにご協力いただきました1,712人の市内幼稚園、保育園および子ども園の保護者の皆さまには感謝申し上げます。



第2部テーマ

こどもの医療について
11月12日(土)午前10時～正午
飯南コミュニティセンター
松阪市飯南町粥見3910-1

環境福祉委員会
お年寄り、障がい者、保健衛生、保育(幼稚園)、子育て、交通安全、病院、ごみ、環境などに関する事項

海住 恒幸/米倉 芳周/奥出 かよ子/殿村 峰代/橋大 介
◎沖 和哉 ◎松本 一孝

第2部テーマ

空き家対策について
11月15日(火)午後7時～午後9時
小野江公民館
松阪市小野江町380-1

建設水道委員会
都市計画、道路、河川、住宅、公園、上下水道などに関する事項

野呂 一男/濱口 高志/小川 朋子/橋谷 さゆり/中島 清晴
◎松岡 恒雄 ◎坂口 秀夫

第2部テーマ

地域とともにある学校づくり
11月17日(木)午後7時～午後9時
鎌中地域交流センター
松阪市鎌田町656(鎌田中学校内)

文教経済委員会
農林水産・商工業、文化、スポーツ、教育、学校などに関する事項

小野 建二/市野 幸男/森 遥香/吉川 篤博/深田 龍
◎中村 誠 ◎西口 真理

第2部テーマ

市役所って利用しやすいですか
11月18日(金)午後2時～午後4時
松阪公民館
松阪市船江町1392-3

総務企画委員会
市の基本計画、財政、税、防災、消防、広報などに関する事項

野呂 一平/堀端 暢/東村 佳子/赤塚 かつり/山本 芳敏
◎久松 倫生 ◎田中正浩

◎委員長
◎副委員長

言うてんか!

聞いてんか!

第19回
**議 会
報 告 会**

第19回議会報告会は3年ぶりとなる現地での開催と動画配信を行いました。会場ごとにテーマを設け、意見交換会を実施しました。



▲鎌中地域交流センター



▲飯南コミュニティセンター

行政視察

議会運営委員会

若者プロジェクト

静岡県御殿場市（1月12日）

取組みに至った経緯について伺った。平成29年の選挙が無投票となり、令和2年度から議会運営委員会を通じ、高校生議会などの交流事業を通じ若者プロジェクトを取組み始めた。



電子採決、議員間討議（自由討議）

愛知県半田市（1月13日）

議会のICT化推進プロジェクトを立ち上げ、開かれた議会の推進として電子採決を導入した。今後も課題点を問題提起し、整理していく必要があると考える。

総務企画委員会

移住・定住の取組み

岡山県総社市（1月23日）

岡山県で最も人口が増え、住むなら総社を発信している。市街地の空き家バンクの実践などを視察。必要な産業（就労）対策、子育て環境、居住対策など課題を感じた。

真備（まび）地区復興計画

岡山県倉敷市（1月24日）

西日本豪雨の大災害があった倉敷市真備地区の4年余の復興の実践について視察。河川の大規模改修、居住とコミュニティの復興、教育と市民意識の醸成など多くを学んだ。



スマートシティ構想 ・自治体デシテム

兵庫県加古川市（1月25日）

「見守りカメラ」の実践で犯罪を半減させた実践などスマートシティ構想の具体化、国内初の自治体デシテムの導入など、担当者の先進的な取組みを聴くことができた。

環境福祉委員会



ヤングケアラー支援条例

埼玉県入間市（1月26日）

大人の代わりに、家事や看護などを担う子ども達の負担を軽減し、学校生活や進路などに支障が出ないように、社会全体で支えていくための基盤づくりや制度設計を伺った。

ゴミ屋敷問題に向き合う姿勢

東京都足立区（1月27日）

ゴミ屋敷は福祉課題であり社会問題。担当課だけでなく、いかにして全庁・関係機関を巻き込むか。対処法でなく根本要因に向き合い、当事者に寄り添う重要性を再認識した。



文教経済委員会

小中学校再編への取組み（義務教育学校等への変換）

広島県福山市（1月25日）

統廃合ではなく、再編による適正化を地域と協議。それぞれの学校が培ってきた歴史・伝統や特色ある教育活動などを継承した義務教育学校を平成31年に新たに設置した。

熊本城復興と観光への取組み

熊本県熊本市（1月26日）

熊本地震による被害総額は634億円。被害状況や復旧状況を、特別空中見学通路を設置し、復旧時しか見ることができない場所を見学できる、集客力のある取組みであった。



熊本市 ICT 教育の現況

熊本県熊本市（1月27日）

教育ICT導入の理念・目的は「授業の改善」教える授業から子どもたちが学び取る形へ。また、市独自の教員からのオーダーによるオリジナルデジタル教材の開発を行っている。

建設水道委員会

景観計画と高山市

美しい景観と潤いのあるまちづくり条例

岐阜県高山市（1月25日）

重要伝統的建造物群保存地区は、木造の風情ある街並みを形成。再生可能エネルギーにおいても、防災や景観などをおろそかにしてまで設置を促すことは不適切だと示している。

空き家活用定住促進事業

京都府綾部市（1月26日）

情報発信等を通して、行政の熱心な地域活性化への思いが空き家の登録につながっていることが印象的だった。



市街地再開発

～四番町スクエア～

滋賀県彦根市（1月27日）

「街なか再生土地区画整理事業」により、古きよき伝統を、未来へつなげる街〈Traditional & Future〉の景観、建築様式が進められた。統一感ある魅力的景観づくりが特に心に残った。

広報広聴委員会

広報広聴機能の取組み

三重県四日市市（2月2日）

市民参加を促すための制度である「市議会モニター・シティーミーティング・所管事務調査テーマの募集」等について学んだ。

三重県鳥羽市（2月2日）

議員派遣型の「TOBAミラトーク」は双方向の意見交換・気付きの場となるよう、議員のファシリテート力向上のため、研修に注力しているとのことだった。





令和5年6月定例会の開催日程(予定)

6/8	木	議会運営委員会	25	日	
9	金		26	月	本会議(一般質問①)
10	土		27	火	
11	日		28	水	本会議(一般質問②)
12	月		29	木	
13	火		30	金	本会議(一般質問③)
14	水		7/1	土	
15	木	本会議(議案上程・提案説明)	2	日	
16	金	休会(議案精読)	3	月	委員会(環境福祉・文教経済)
17	土		4	火	委員会(総務企画・建設水道)
18	日		5	水	
19	月	休会(議案精読)	6	木	
20	火	休会(議案精読)	7	金	
21	水	休会(議案精読)	8	土	
22	木	本会議(議案質疑・委員会付託)	9	日	
23	金		10	月	
24	土		11	火	本会議(議決)

会期
27日間

本会議は市役所3階市議会議場で、委員会は2階市議会委員会室で、いずれも午前10時から開催します。皆さんの傍聴をお待ちしております。

議員ミーティング開催



議員力向上を目的とし、初の試みである「議員ミーティング」が開催されました。参加したのは1期目議員7名と、参加を希望した4名の合計11名。議員となって1年を振り返るとともに、市議会のルールの再確認をテスト形式で行いました。



第20回議会報告会は5月中旬開催予定!

詳細は広報まつさか4月号と同時配布のチラシをご覧ください。

広報広聴委員

- 【左から】
- 吉川篤博
- 森遥香
- 中村誠
- 米倉芳岡 (副委員長)
- 海住恒幸 (委員長)
- 山本芳敬
- 殿村峰代
- 小野建二



▲出初式(でぞめしき)会場にて



今月号の表紙は、松阪工業高校繊維デザイン科2年向井星歌さんの「進む」。3年生の卒業の時期が近づいてくるこの季節に、私も来年卒業するんだなあという寂しい思いと、自分の将来の道に進むという思いをこめて、赤壁校舎と卒業する女の子がこれからも頑張るぞという前向きなイラストにしました。

編集後記 ★★★★★

『みてんか』という名称の議会広報誌は、全国的にもユニークだそうです。そのため、他県の議会からの視察の申し出がけっこうあったり、議会広報誌研修で講師の方が頑張っている事例に取り上げたりしていただいたりすることもあります。

その『みてんか』の記事を書いたり、編集をしている広報広聴委員会は、年2回の議会報告会の開催準備も引き受けているなど、忙しいところです。そのためか、委員になっている議員は“若手”が起用されることが多いようです。まもなく新しい年度が始まります。これまでの評価に甘んじることなく、さらに充実した誌面作りにまい進していきます。

広報広聴委員長 海住恒幸



見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。